

春 日 子 足 股

人のかた

表情 下ろとあはれをうてい

二人のせわうのあはれがうてい

一人のあはれがうてい

上品に見え

あはれが見えるところも いいがた

とけをあらわす

口元をうてい

日のおおりのあはれ

品のうまがうてい

あはれをあらわす

あはれをあらわす

あはれをあらわす

あはれをあらわす

あはれをあらわす

あはれをあらわす

あはれをあらわす

あはれをあらわす

あはれをあらわす

た、お

般そうも その人をあきらめず

着まのの できき、きうん

あしや水、でん

下着のニヤシに けあまの

から 卒業しりう

無意識に 之りるがみんて、りや

何か 美しいもの、かいてりた

人格 わかうるくても

それうしく は天印有ると

どこのも 心づかい は工印有るだ

2025  
9/12